

参考資料

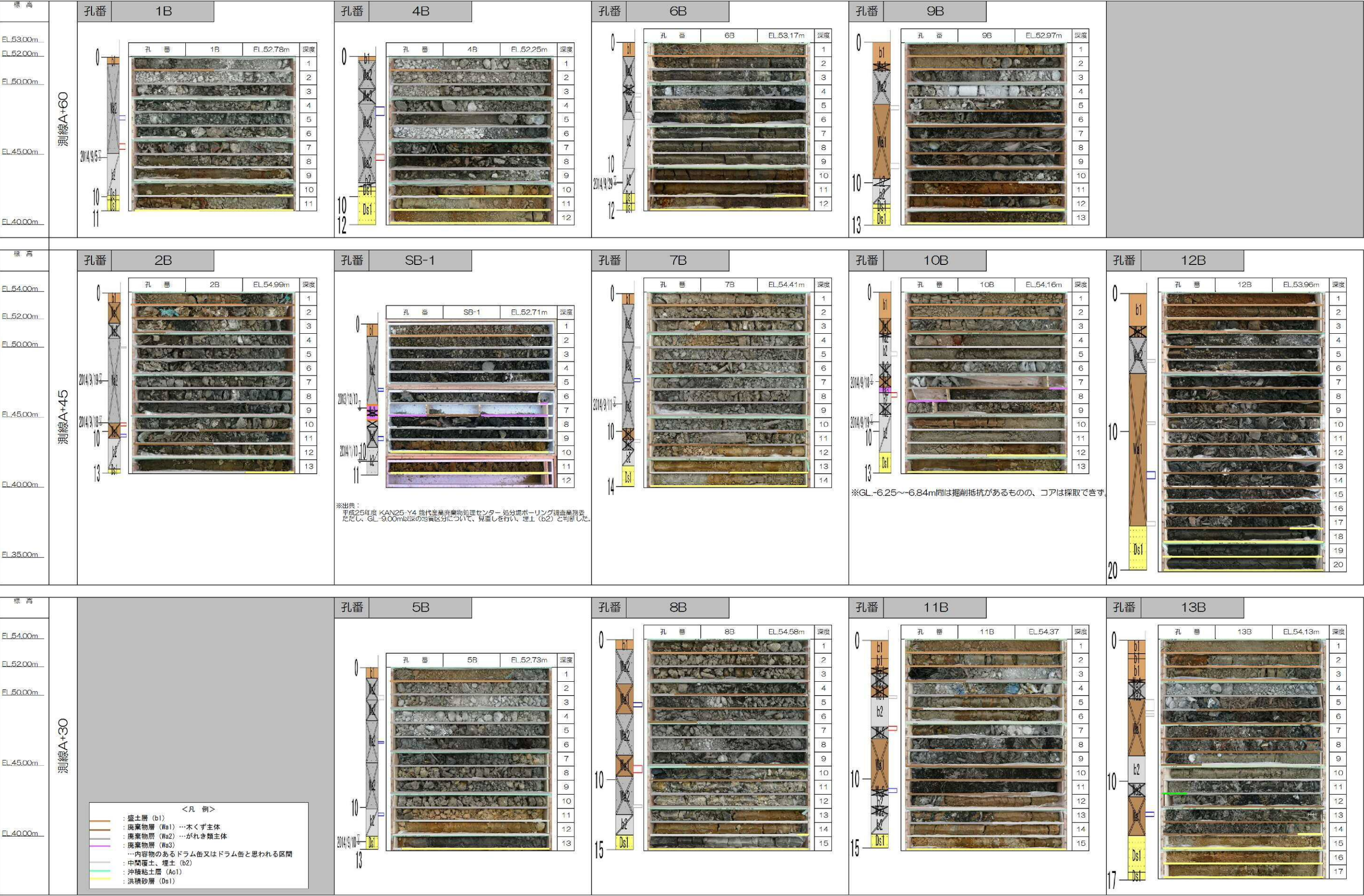


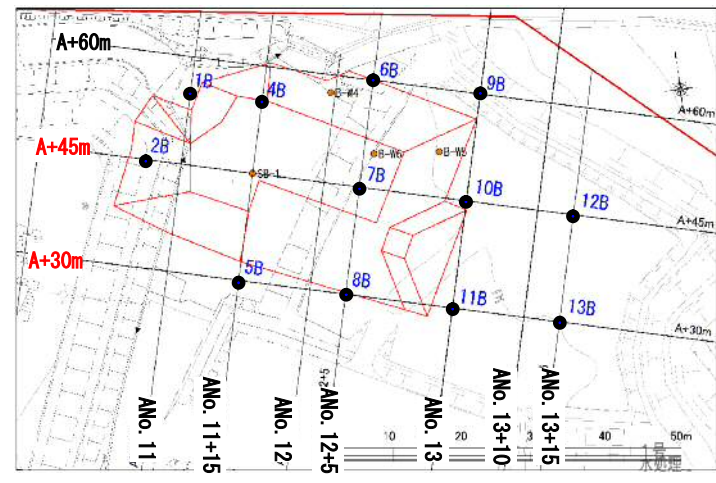
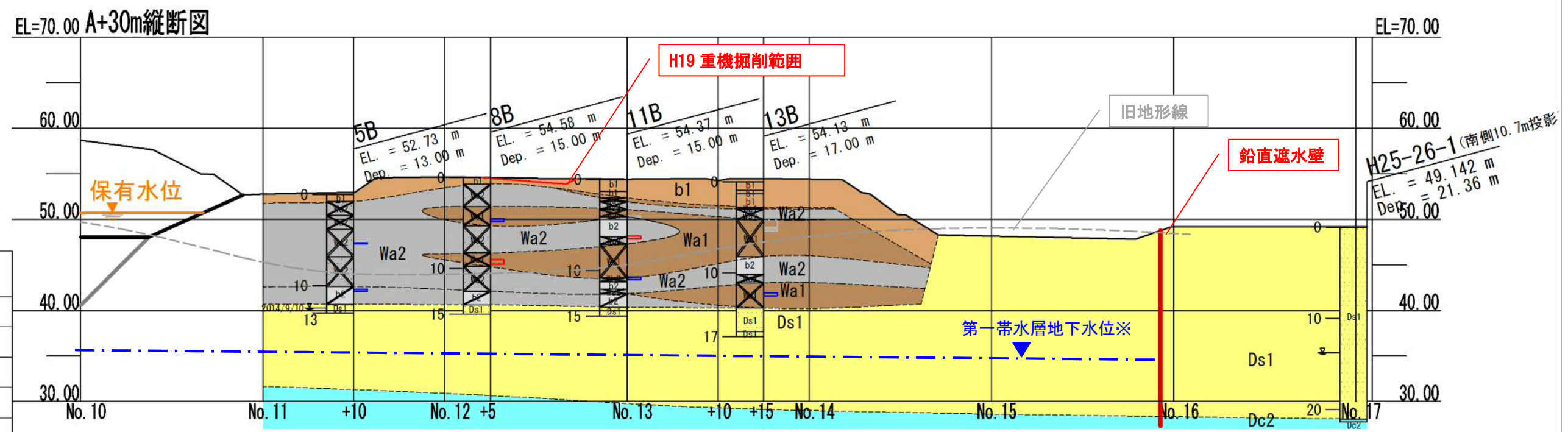
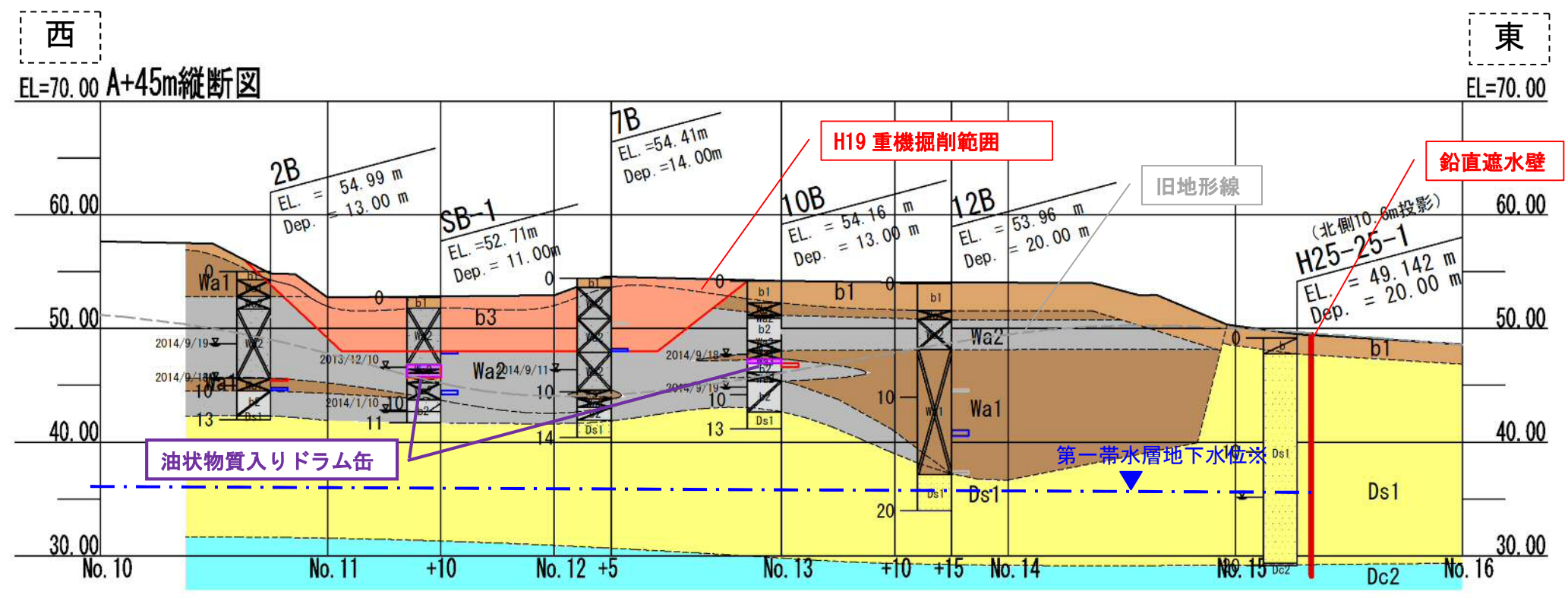
図 1 簡略柱状図及びコア写真

A+45m断面
 西側はがれき類を主体としており、東側は木くずを主体としている。
 12B で廃棄物層が最も厚くなっていた。
 昨年度実施の SB-1 及び 10B で油状物質が入ったドラム缶が確認されたが、その東西では確認されなかった。

A+30m断面
 西側はがれき類を主体としており、東側は木くずを主体としている。
 油状物質が入ったドラム缶は確認されなかった。

地 質 構 成 表

地質時代		層区分	地層名	記号	構成土質	
第四紀	完新世	被覆層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土	
			盛土層	b1	硬湿じり土砂 砂質土	
			中間覆土 (埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土	
			廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物	
			廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物	
			廃棄物層	Wa3	廃棄物(油状物質)	
		沖積層	沖積粘土層1	Ac1	有機質シルト シルト	
		更新世	古潮砂丘堆積物	洪積砂層1	Ds1	中砂～細砂
	洪積粘土層1			Dc1	シルト ローム	
	洪積粘土層2			Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト	
	洪積砂層2			Ds2	細砂	
	洪積砂礫層			Dsg	砂礫	
	新第三紀			鮮新世	天徳寺層	砂岩
		シルト岩	Tc		シルト岩	



※第一帯水層地下水位は H26. 9. 12 時点の水位データを使用

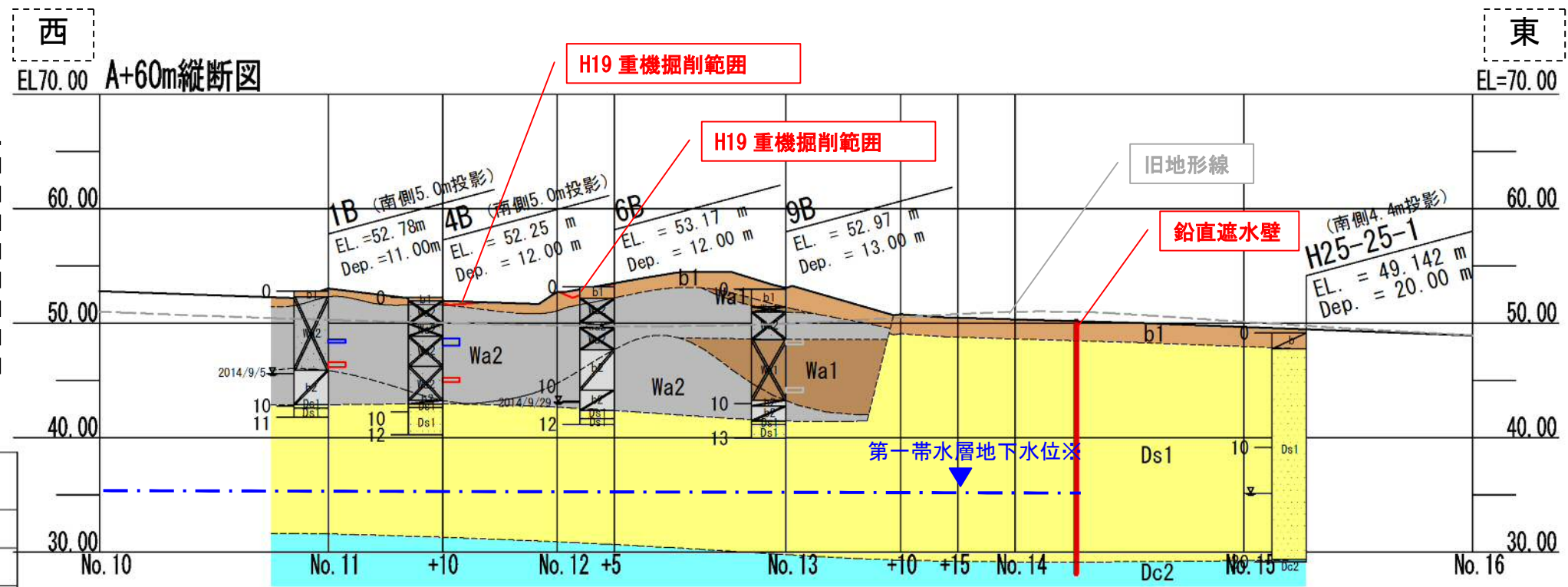
図 2 縦断面図 (A+30m、A+45m)

A+30m ~ A+45m

路線名			
箇所名	No. 2処分場		
工事名			
縦断面図 (1/2)	縮尺	1:500	
調査	設計	図面番号	
秋 田 県			

A+60m断面
西側はがれき類を主体としており、東側は木くずを主体としている。
油状物質が入ったドラム缶は確認されなかった。

地質時代		層区分	地層名	記号	構成土質
第四紀	完新世	被覆層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土
			盛土層	b1	硬凝り土砂 砂質土
			中間覆土 (埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土
			廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物
			廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物
			廃棄物層	Wa3	廃棄物(油状物質)
	更新世	沖積層	沖積粘土層1	Ac1	有機質シルト シルト
			洪積砂層1	Ds1	中砂～細砂
		段丘堆積物 (扇西層)	洪積粘土層1	Dc1	シルト ローム
			洪積粘土層2	Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト
新第三紀	能新世	天徳寺層	洪積砂層2	Ds2	細砂
			洪積砂層	Dsg	砂礫
			砂岩	Tss	砂岩(細砂)
			シルト岩	Tc	シルト岩



※第一帯水層地下水位は H26. 9. 12 時点の水位データを使用

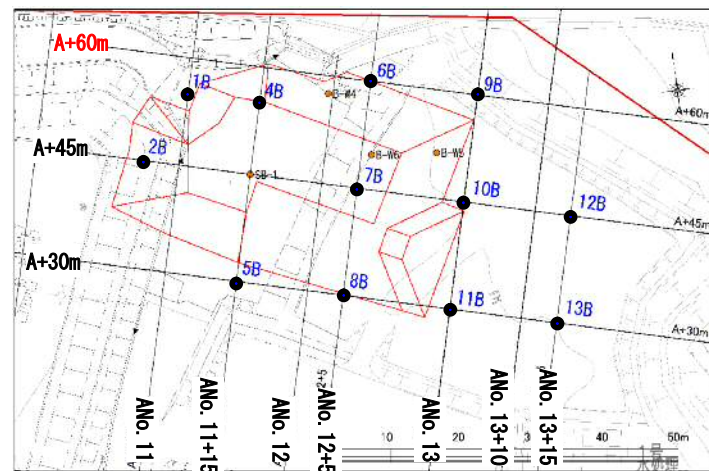
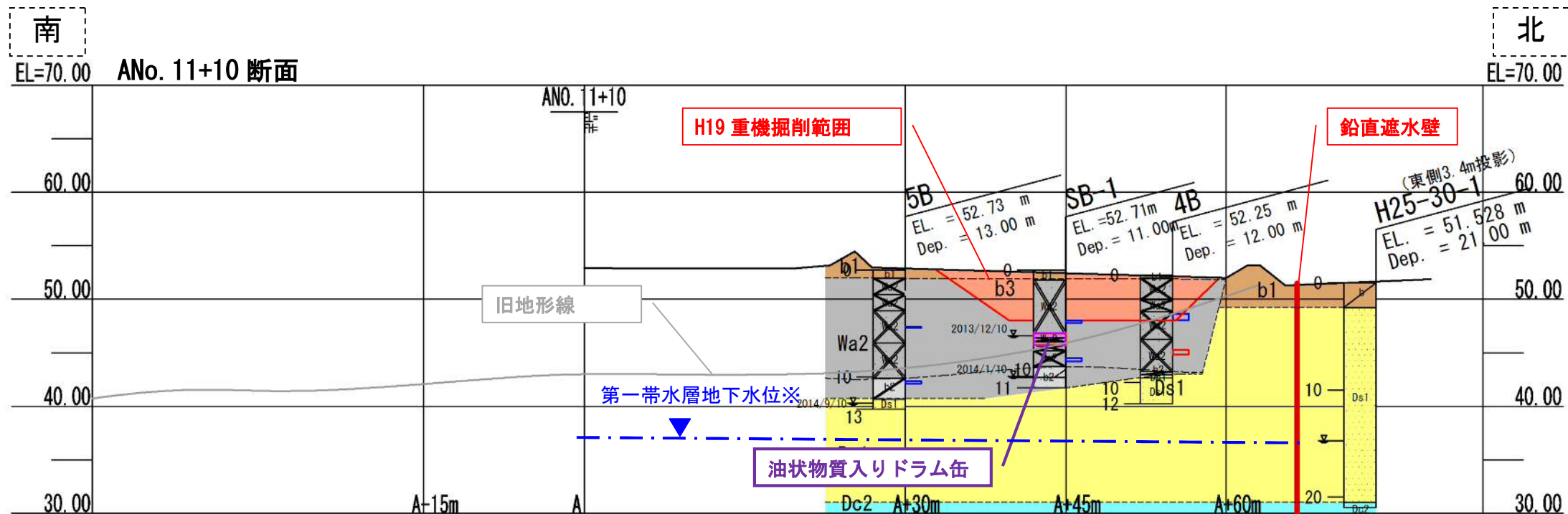


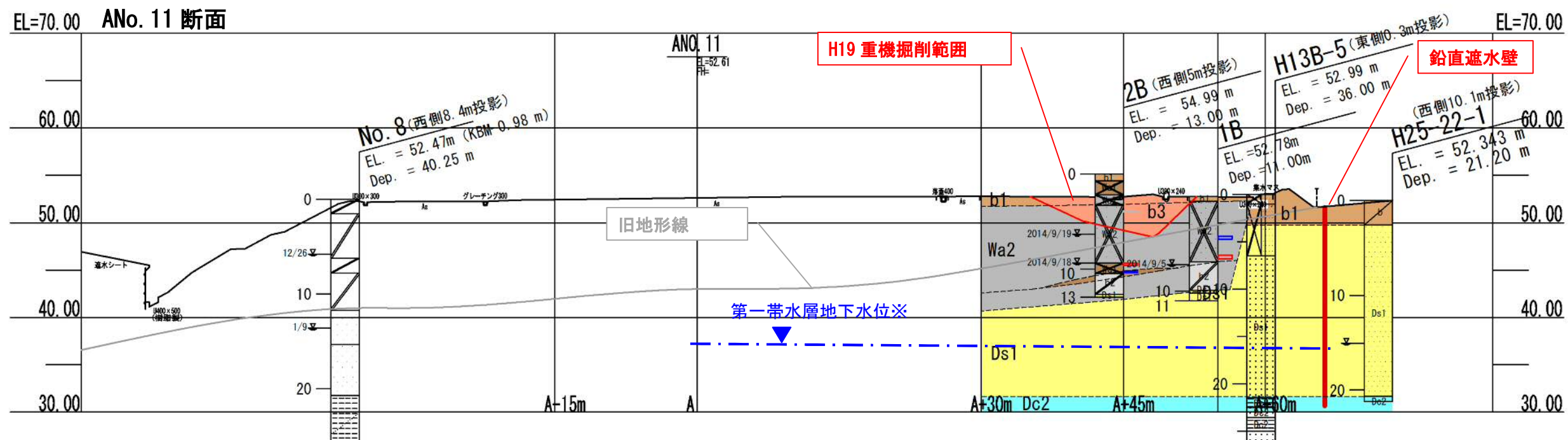
図3 縦断面図 (A+60m)

A+60m		工事番号	
路線名		No. 2処分場	
箇所名		No. 2処分場	
工事名		縦断面図 (2/2)	
照査	設計	縮尺	1:500
秋田県		図面番号	

地 質 構 成 表					
地質時代		層区分	地層名	記号	構成土質
第四紀	完新世	被覆層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土
			盛土層	b1	雑逞じり土砂 砂質土
			中間覆土 (埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土
			廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物
			廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物
			廃棄物層	Wa3	廃棄物（油状物質）
		沖積層	沖積粘土層1	Ao1	有機質シルト シルト
		更新世	古礫砂丘堆積物	洪積砂層1	Ds1
	洪積粘土層1			Dc1	シルト ローム
	洪積粘土層2			Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト
	段丘堆積物 (濁西層)		洪積砂層2	Ds2	細砂
			洪積砂礫層	Dsg	砂礫
	新第三紀	漸新世	天徳寺層	砂岩	Tss
			シルト岩	Tc	シルト岩



ANo.11+10 断面
がれき類を主体
としている。
昨年度実施の
SB-1 で油状物質
が入ったドラム缶
が確認されたが、
その南北では確認
されなかった。



ANo.11 断面
がれき類を主体
としている。
油状物質が入っ
たドラム缶は確認
されなかった。

※第一帯水層地下水位は H26. 9. 12 時点の水位データを使用

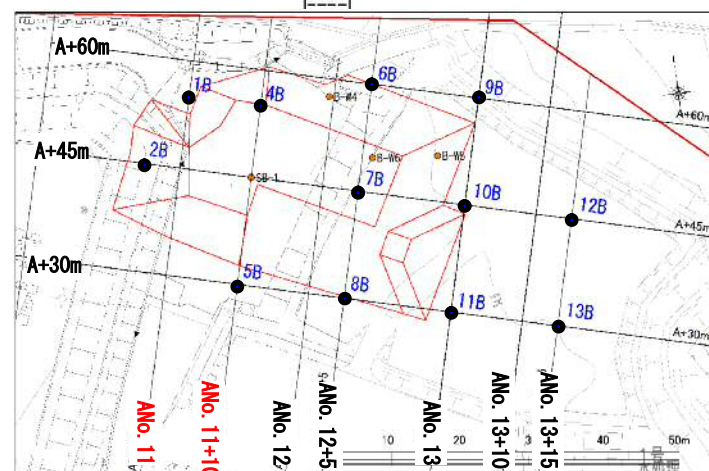


図 4 横断面図 (ANo.11、ANo.11+10)

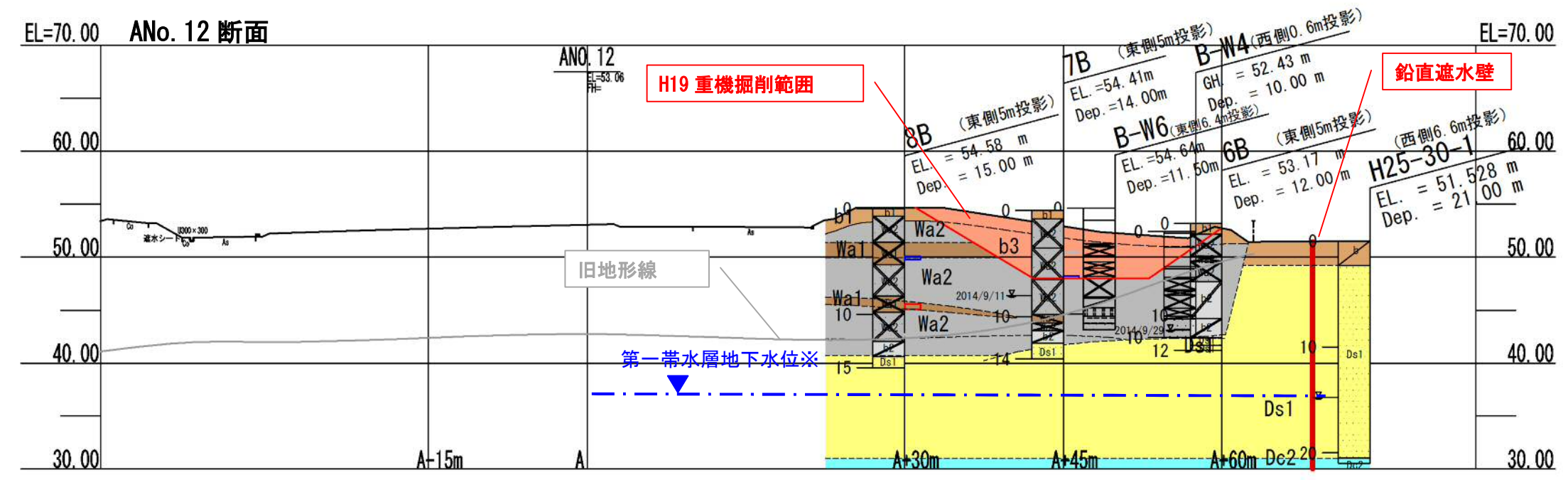
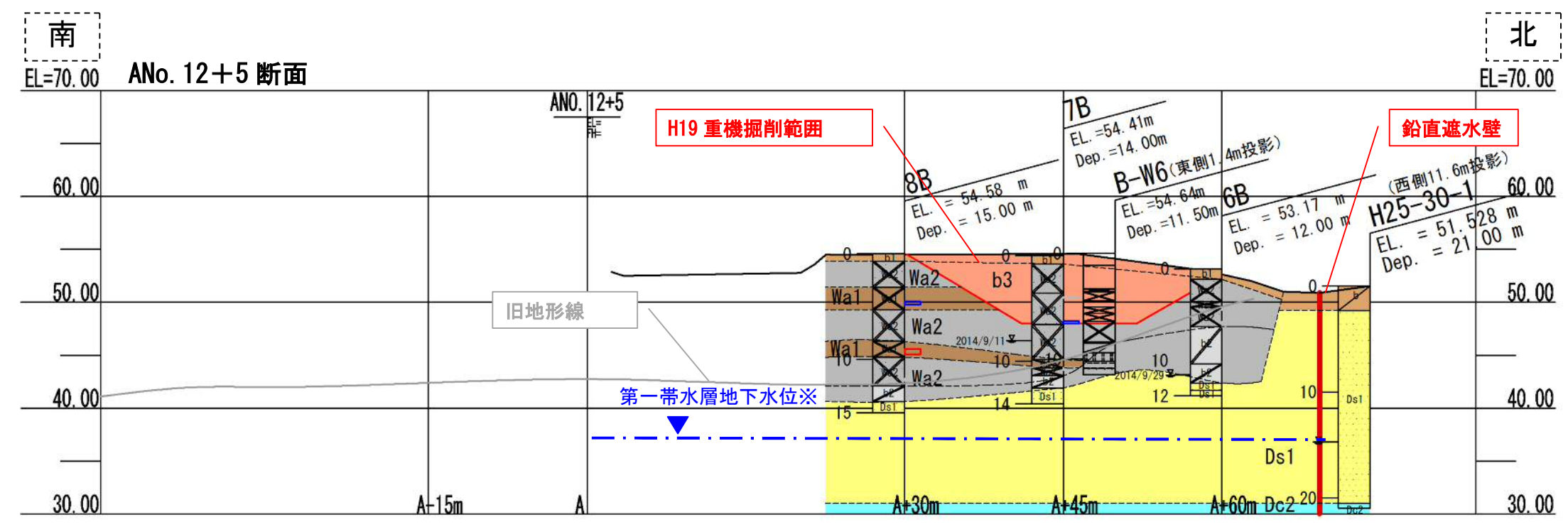
ANo. 11 ~ ANo. 11+10		工事番号	
路線名			
箇所名	No. 2号分岐		
工事名			
横断面図 (1/4)		縮尺	1:500
調査	設計	図面番号	
秋 田 県			

ANo.12+5 断面
がれき類を主体として
いる。
油状物質が入ったドラ
ム缶は確認されなかった。

ANo.12 断面
がれき類を主体として
いる。
油状物質が入ったドラ
ム缶は確認されなかった。

地質構成表

地質時代	層区分	地層名	記号	構成土質
第四紀	埋没層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土
		盛土層	b1	機混じり土砂 砂質土
		中間覆土 (埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土
		廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物
		廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物
		廃棄物層	Wa3	廃棄物 (油状物質)
	沖積層	沖積粘土層1	Ac1	有機質シルト シルト
	古期砂丘堆積物	洪積砂層1	Ds1	中砂～細砂
		洪積粘土層1	Dc1	シルト ローム
		洪積粘土層2	Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト
		洪積砂層2	Ds2	細砂
新第三紀	段丘堆積物 (潟西層)	洪積砂層	Dsg	砂礫
		砂岩	Tss	砂岩 (細砂)
		シルト岩	Tc	シルト岩



※第一帯水層地下水位はH26. 9. 12 時点の水位データを使用

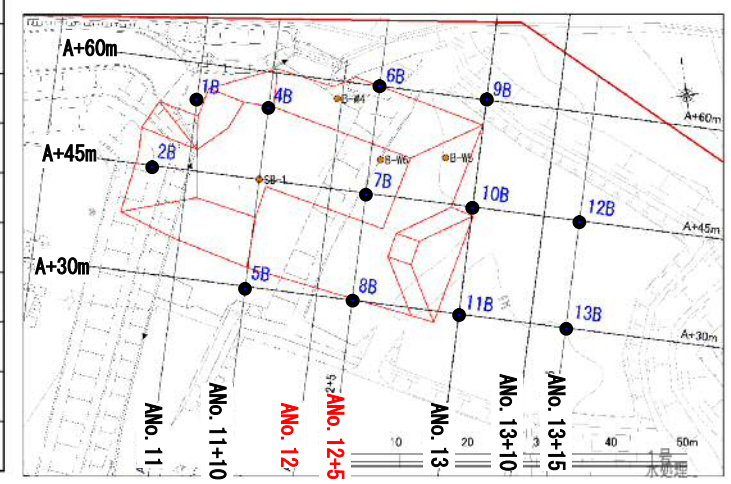
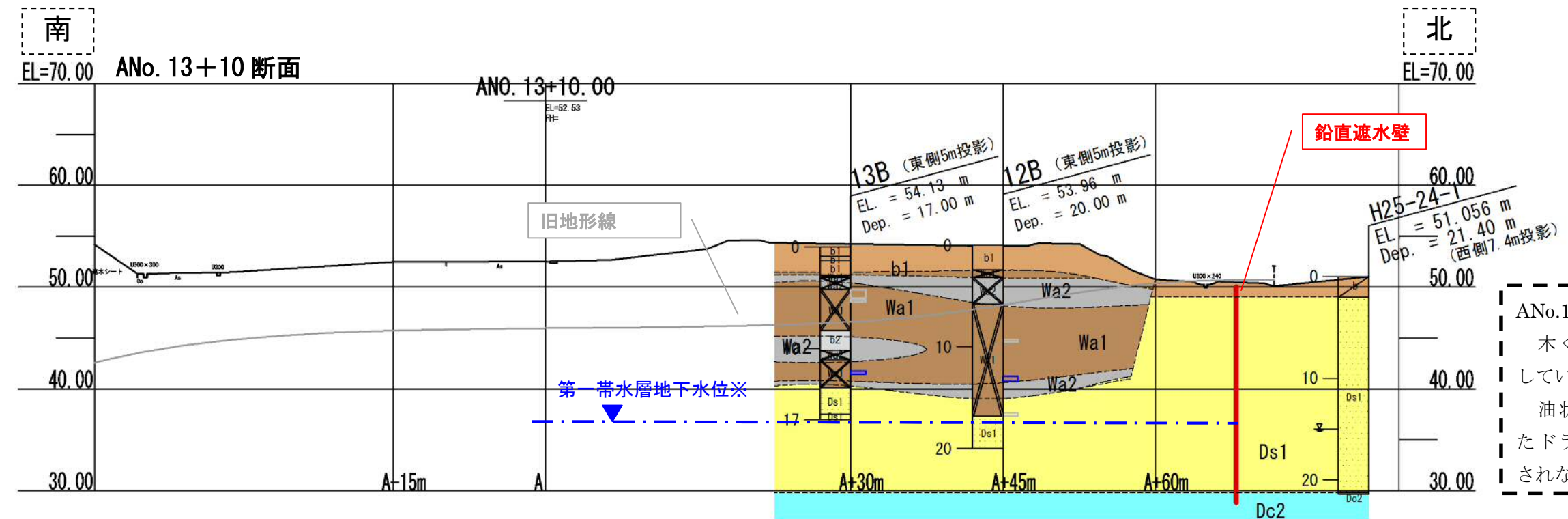


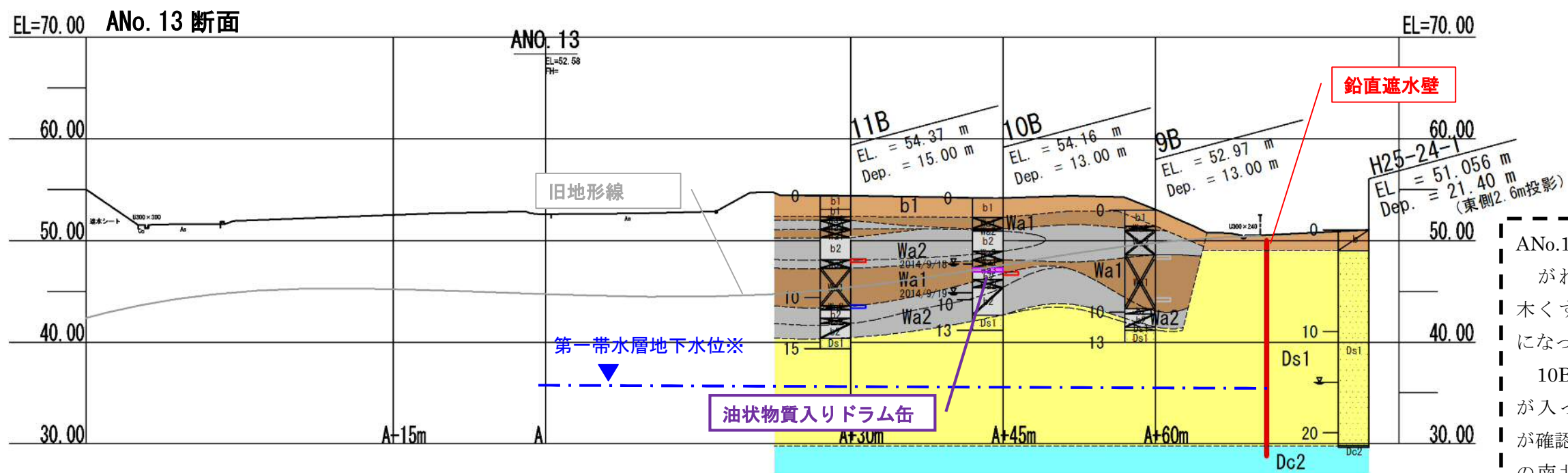
図 5 横断面図 (ANo.12、ANo.12+5)

ANo. 12 ~ ANo. 12+5		工 事 名	
路 線 名		縮 尺	1 : 5 0 0
箇 所 名	No. 2処分場	図 面 番 号	
工 事 名			
横断面図 (2/4)		縮 尺	1 : 5 0 0
照 査	設 計	図 面 番 号	
秋 田 県			

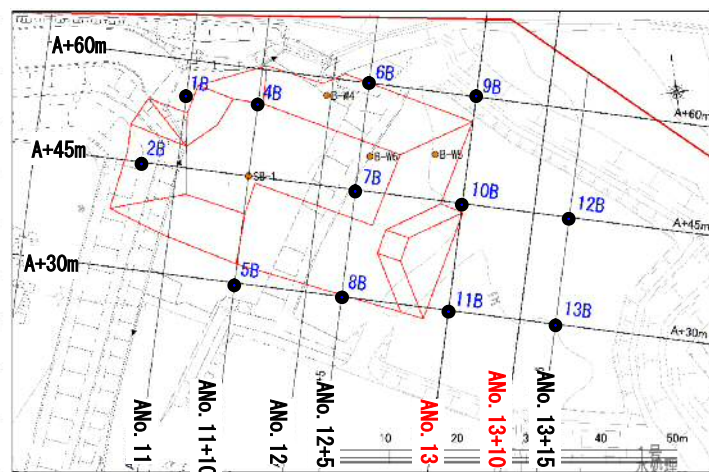
地質構成表				
地質時代	層区分	地層名	記号	構成土質
第四紀	被覆層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土
		盛土層	b1	確認じり土砂質土
		中間覆土(埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土
		廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物
		廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物
		廃棄物層	Wa3	廃棄物(油状物質)
	沖積層	沖積粘土層1	Ac1	有機質シルト シルト
		洪積砂層1	Ds1	中砂～細砂
	古期砂丘堆積物	洪積粘土層1	Dc1	シルト ローム
		洪積粘土層2	Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト
更新世	段丘堆積物(濁り層)	洪積砂層2	Ds2	細砂
		洪積砂層層	Dsg	砂礫
		砂岩	Tss	砂岩(細砂)
		シルト岩	Tc	シルト岩
新第三紀	新第三紀	天徳寺層		



ANo.13+10 断面
木くずを主体としている。
油状物質が入ったドラム缶は確認されなかった。



ANo.13 断面
がれき類主体と木くず主体が層状になっている。
10B で油状物質が入ったドラム缶が確認されたが、その南北では確認されなかった。

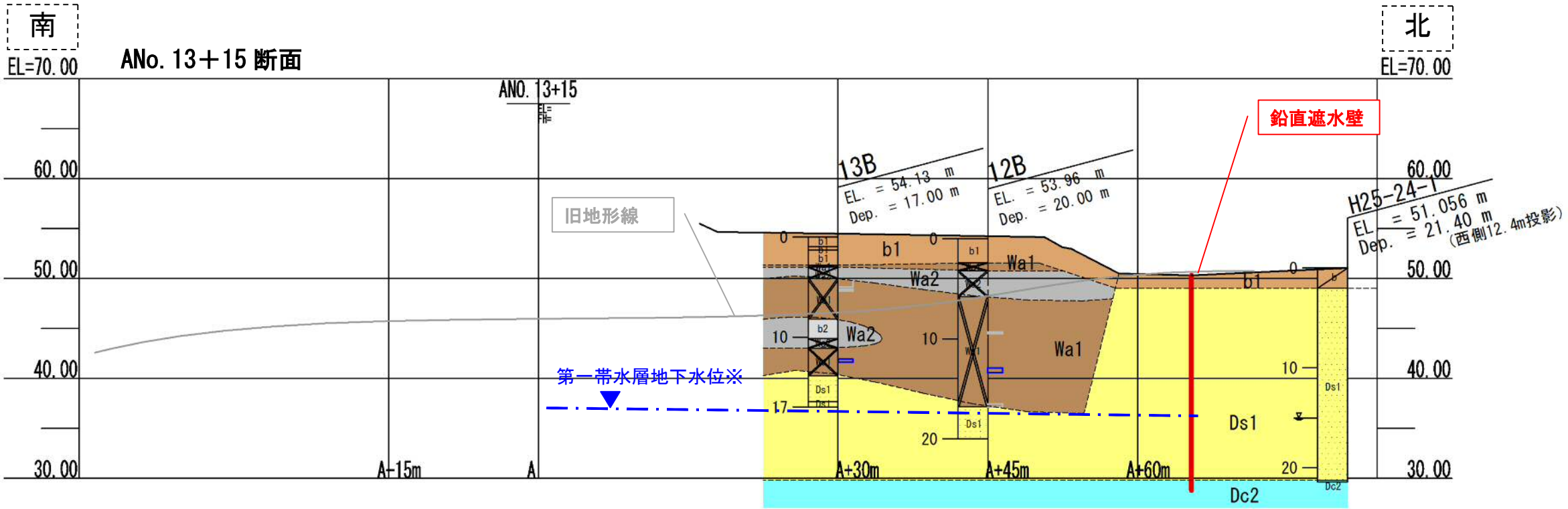


※第一帯水層地下水位は H26. 9. 12 時点の水位データを使用

図 6 横断面図 (ANo.13、ANo.13+10)

ANo. 13 ~ ANo. 13+10		工 事 名	
路 線 名		縮 尺	1 : 500
箇 所 名	No.2処分場	図 面 番 号	
工 事 名			
横断面図 (3/4)			
照 査	設 計		
秋 田 県			

ANo.13+15 断面
 木くずを主体としている。
 12B で廃棄物層が最も厚くなっていた。
 油状物質が入ったドラム缶は確認されなかった。



※第一帯水層地下水位は H26. 9. 12 時点の水位データを使用

地 質 構 成 表

地質時代		層区分	地層名	記号	構成土質		
第四紀	完新世	被覆層	掘削埋戻土	b3	H19掘削埋戻土		
			盛土層	b1	礫混じり土砂 砂質土		
			中間置土 (埋土)	b2	廃棄物混り土砂 廃棄物混り砂質土		
			廃棄物層	Wa1	木くず主体廃棄物		
			廃棄物層	Wa2	がれき類主体廃棄物		
			廃棄物層	Wa3	廃棄物（油状物質）		
	更新世	沖積層	沖積粘土層1	Ac1	有機質シルト シルト		
		古期砂丘堆積物	洪積砂層1	Ds1	中砂～細砂		
			洪積粘土層1	Dc1	シルト ローム		
			洪積粘土層2	Dc2	粘土 粘土質シルト・砂質シルト		
			洪積砂層2	Ds2	細砂		
		段丘堆積物 (潟西層)	洪積砂礫層	Dsg	砂礫		
			新第三紀	新新世	天徳寺層	砂岩	Tss
		シルト岩			Tc	シルト岩	

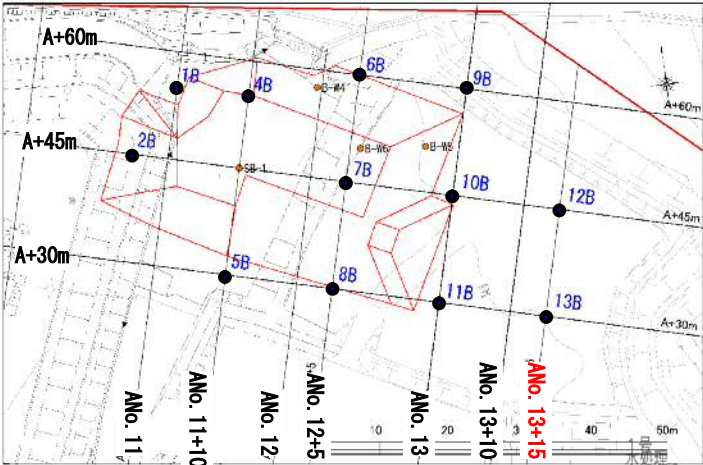


図 7 横断図 (ANo. 13+15)

ANo. 13+15		工 事 号		
路 線 名				
箇 所 名		No. 2処分場		
工 事 名				
横断図 (4/4)		縮 尺	1 : 5 0 0	
照 査		設 計	図 面 番 号	
秋 田 県				

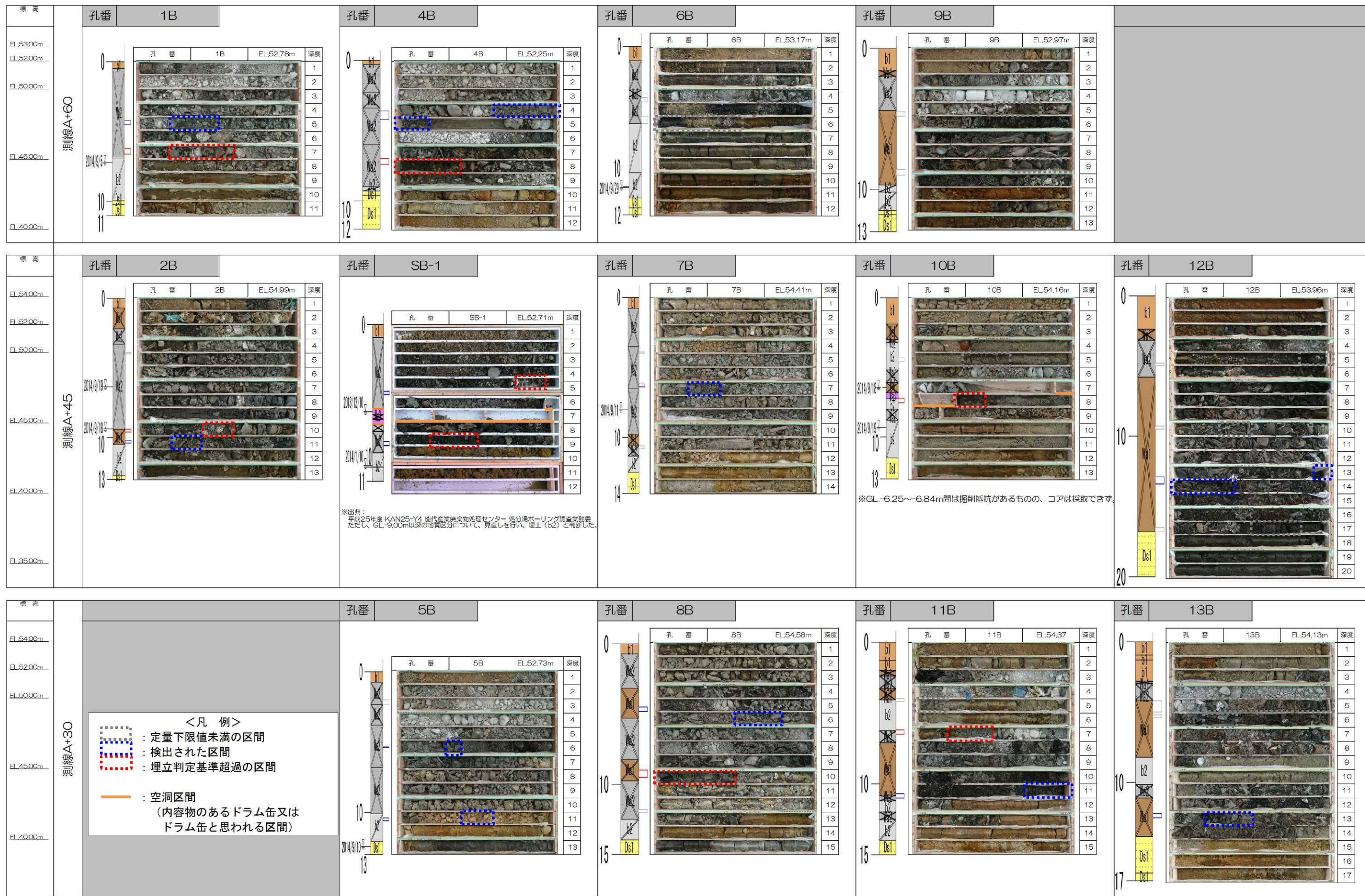


図 8 各孔の試料採取箇所

表 1 廃棄物分析結果の一覧

孔番	採取深度 (GL-~m)			調査日	調査時刻	分析項目	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	シクロロタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,2-ジクロロプロパン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	pH	含水率
						埋立判定基準	0.3	0.1	0.2	0.02	0.04	1	0.4	3	0.06	0.02	0.1	0.5	-	-
	上端	~	下端			定量下限値	0.03	0.01	0.02	0.002	0.004	0.02	0.04	0.3	0.006	0.002	0.01	0.05		0.1
						単位	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	-	%
1B	4.20	~	4.50	2014/9/4	16:10	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	<0.05	6.5	14.9
	6.20	~	6.60	2014/9/4	16:30	-	0.12	<0.01	0.03	<0.002	0.012	<0.02	0.21	<0.3	<0.006	0.004	0.27	0.50	7.1	23.7
2B	3.90	~	4.00	2014/9/18	10:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.0	20.0
	9.40	~	9.60	2014/9/18	17:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	0.010	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.13	0.16	8.1	29.1
	10.20	~	10.40	2014/9/19	15:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	0.05	6.9	19.6
4B	3.60	~	4.20	2014/9/6	13:30	-	<0.03	0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	<0.05	9.4	20.3
	7.00	~	7.40	2014/9/6	14:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	0.69	7.7	26.3
5B	2.00	~	2.30	2014/9/9	17:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	10.1	14.6
	5.30	~	5.40	2014/9/9	17:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	0.11	7.4	29.9
	10.40	~	10.60	2014/9/9	17:10	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	0.10	7.0	23.2
6B	3.65	~	3.90	2014/9/27	15:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	10.7	16.3
	5.00	~	5.50	2014/9/27	16:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	9.8	23.0
7B	3.90	~	4.00	2014/9/11	15:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.0	17.0
	6.20	~	6.40	2014/9/11	15:55	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	0.08	7.8	26.9
	10.60	~	10.80	2014/9/18	16:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	5.3	24.8
8B	4.50	~	4.80	2014/9/15	15:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	<0.05	9.9	30.6
	9.00	~	9.50	2014/9/16	11:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	0.009	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.11	0.06	9.4	19.9
	11.80	~	12.00	2014/9/17	9:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.3	23.6
9B	4.50	~	4.80	2014/9/25	11:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.9	20.8
	8.60	~	9.00	2014/9/25	11:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.7	49.5
10B	4.30	~	4.60	2014/9/17	14:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.1	15.3
	7.23	~	7.55	2014/9/18	16:45	-	<0.03	0.10	0.03	<0.002	0.063	<0.02	0.36	<0.3	<0.006	<0.002	3.1	<0.05	8.1	23.7
11B	4.00	~	4.20	2014/9/22	16:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.5	13.6
	6.20	~	6.50	2014/9/23	13:30	-	<0.03	0.21	<0.02	<0.002	0.058	<0.02	5.5	0.3	<0.006	<0.002	0.57	<0.05	7.2	17.8
	10.70	~	11.00	2014/9/23	16:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.01	0.24	7.4	27.6
12B	4.80	~	5.00	2014/9/23	16:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.9	16.8
	9.30	~	9.50	2014/9/23	10:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.0	21.0
	12.90	~	13.40	2014/9/25	15:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	0.11	7.5	31.7
	16.50	~	16.80	2014/9/27	16:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	7.5	18.3
13B	4.20	~	5.00	2014/9/25	12:00	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.0	15.3
	5.20	~	5.40	2014/9/25	14:30	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.01	<0.05	8.3	22.8
	12.20	~	12.50	2014/9/26	11:50	-	<0.03	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.03	0.33	8.1	33.3
SB-1※	4.70	~	4.90	2013/12/5	11:00	-	<0.03	<0.01	0.02	<0.002	0.30	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	5.2	1.0	8.2	20.3
	8.20	~	8.50	2014/1/10	11:30	-	<0.03	<0.01	0.03	<0.002	0.073	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	0.11	0.77	9.3	22.6
B-W4※	5.15	~	5.40	2006/7/6	-	-	0.013	0.004	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.001	<0.006	<0.002	<0.01	-	-	-
	7.25	~	7.50	2006/7/6	-	-	<0.003	<0.001	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.001	<0.006	<0.002	0.01	-	-	-
B-W5※	4.70	~	4.90	2006/6/30	-	-	<0.003	<0.001	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.001	<0.006	<0.002	0.01	-	-	-
B-W6※	7.60	~	7.80	2006/7/10	-	-	<0.003	<0.001	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.001	<0.006	<0.002	0.01	-	-	-

赤字：埋立判定基準値を超過

青地：検出値

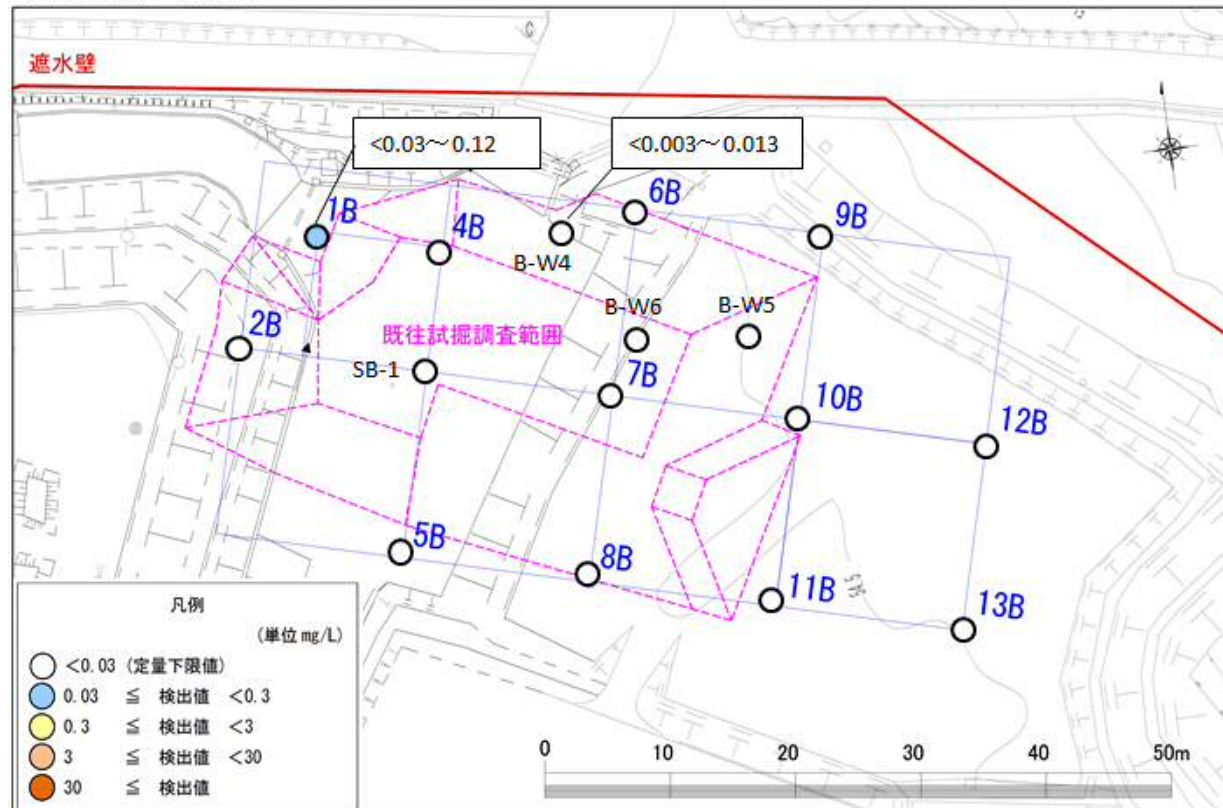
なお、埋立当時の分析項目・基準等は、現在とは異なり、そのまま適用はできない。VOC濃度の検討のため、参考の基準として現在の埋立判定基準を準用した場合の評価である。

分析方法：産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法(昭和48年2月17日環境省告示第13号、改正平成12年1月14日環境庁告示1号および改正平成25年6月(平成25年2月21日報道発表))

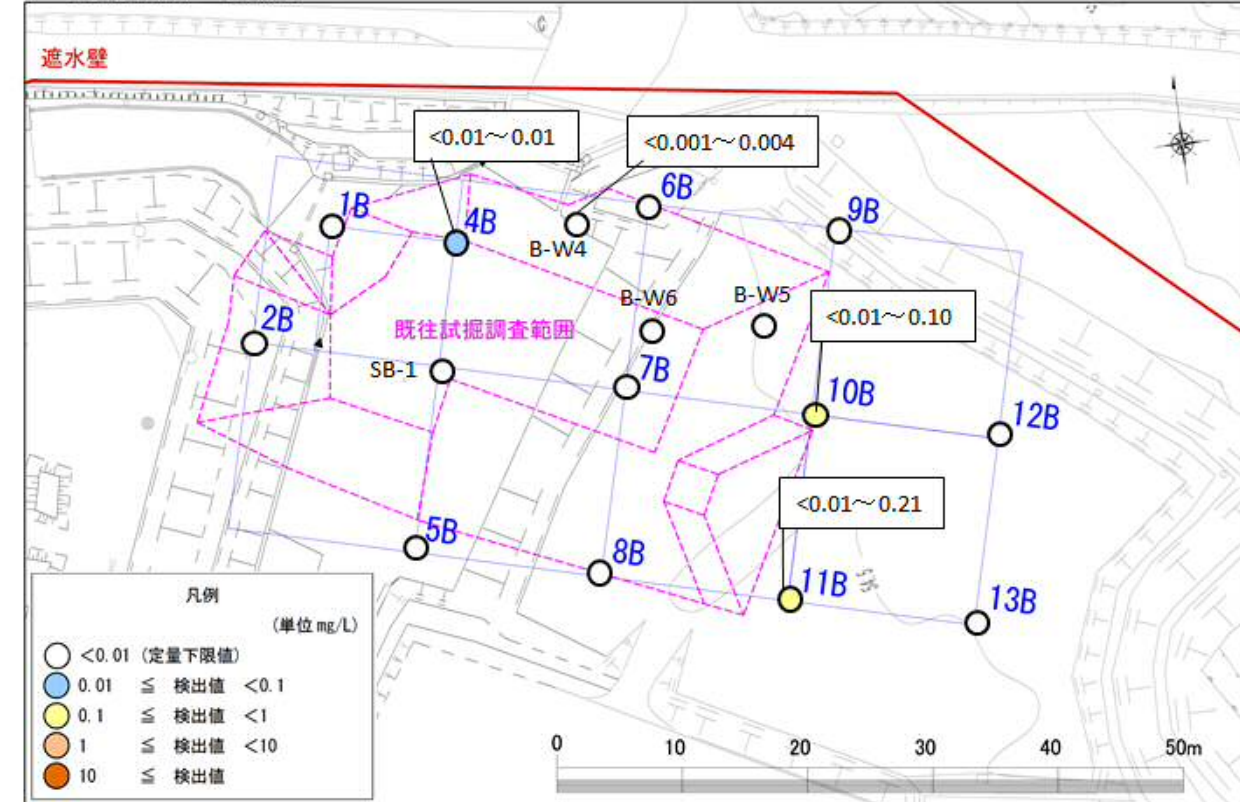
埋立判定基準値：金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令(昭和48年2月総理府令第5号、改正平成25年2月環境省令第3号)

※SB-1は「平成25年度KAN25-Y4能代産業廃棄物処理センター処分場ボーリング調査業務委託」より、BW-4、B-W5、B-W6は「平成17・18年度KAN17-Y7能代産業廃棄物処理センター処分場ボーリング調査業務委託」より引用した。

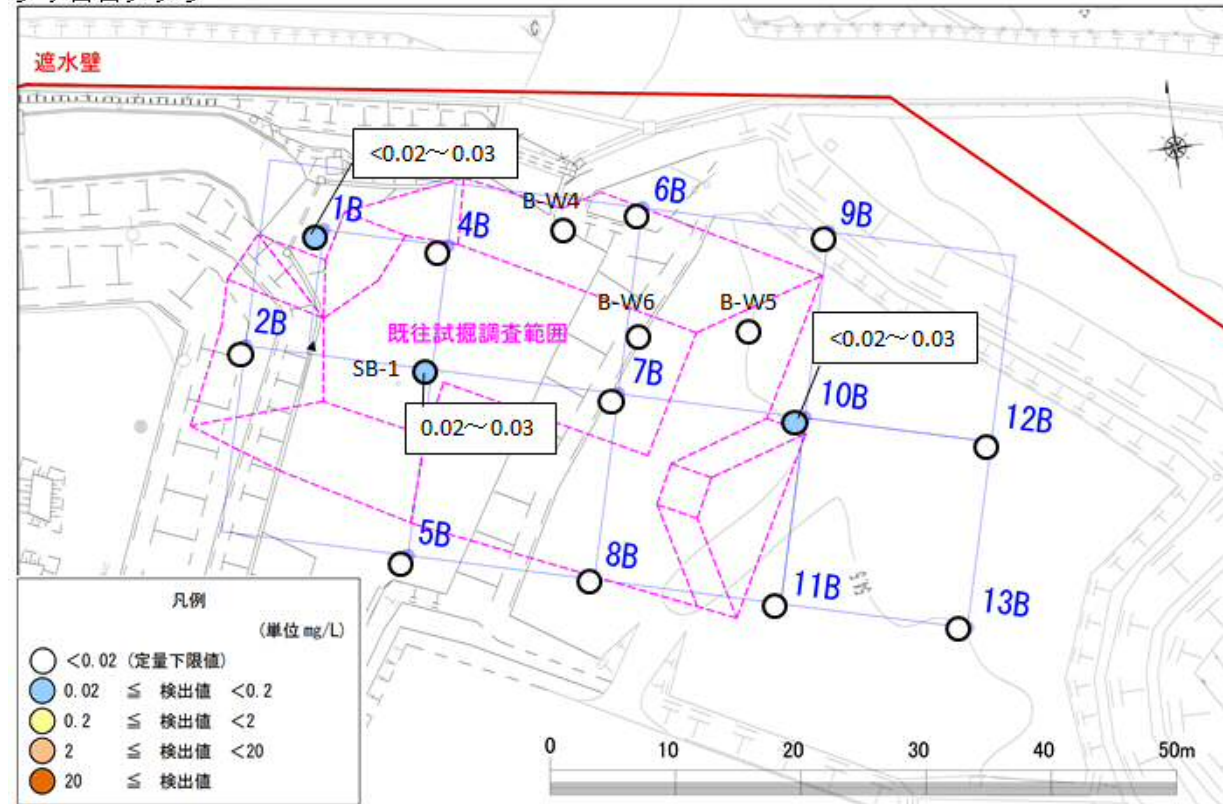
トリクロロエチレン



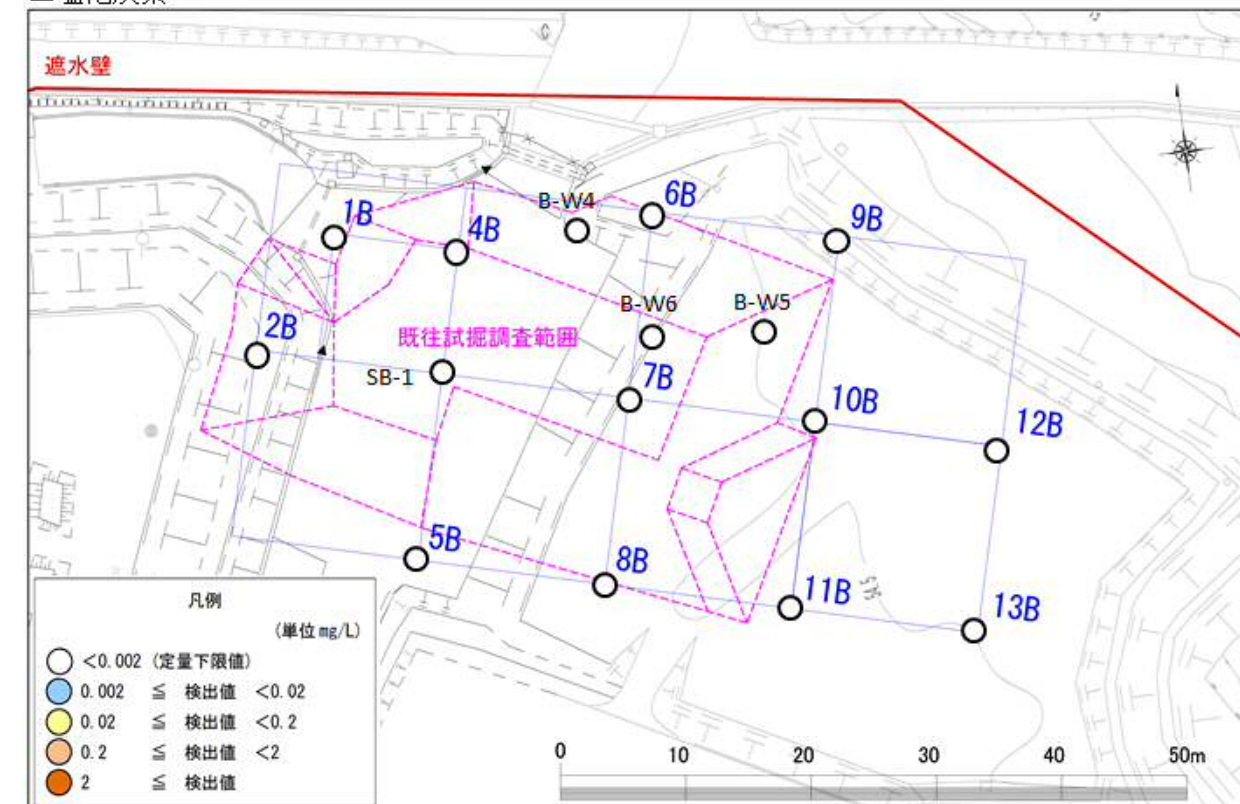
テトラクロロエチレン



ジクロロメタン



四塩化炭素

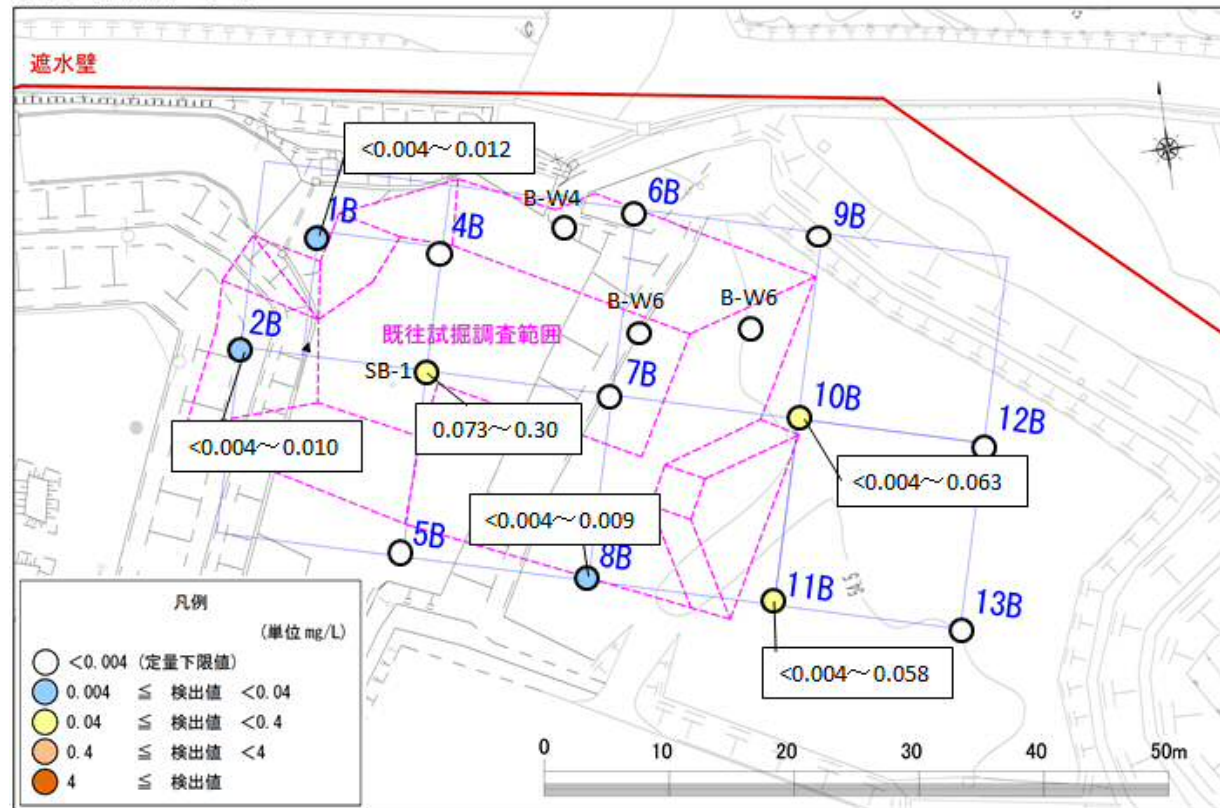


※SB-1孔は、「平成25年度 KAN25-Y4 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より

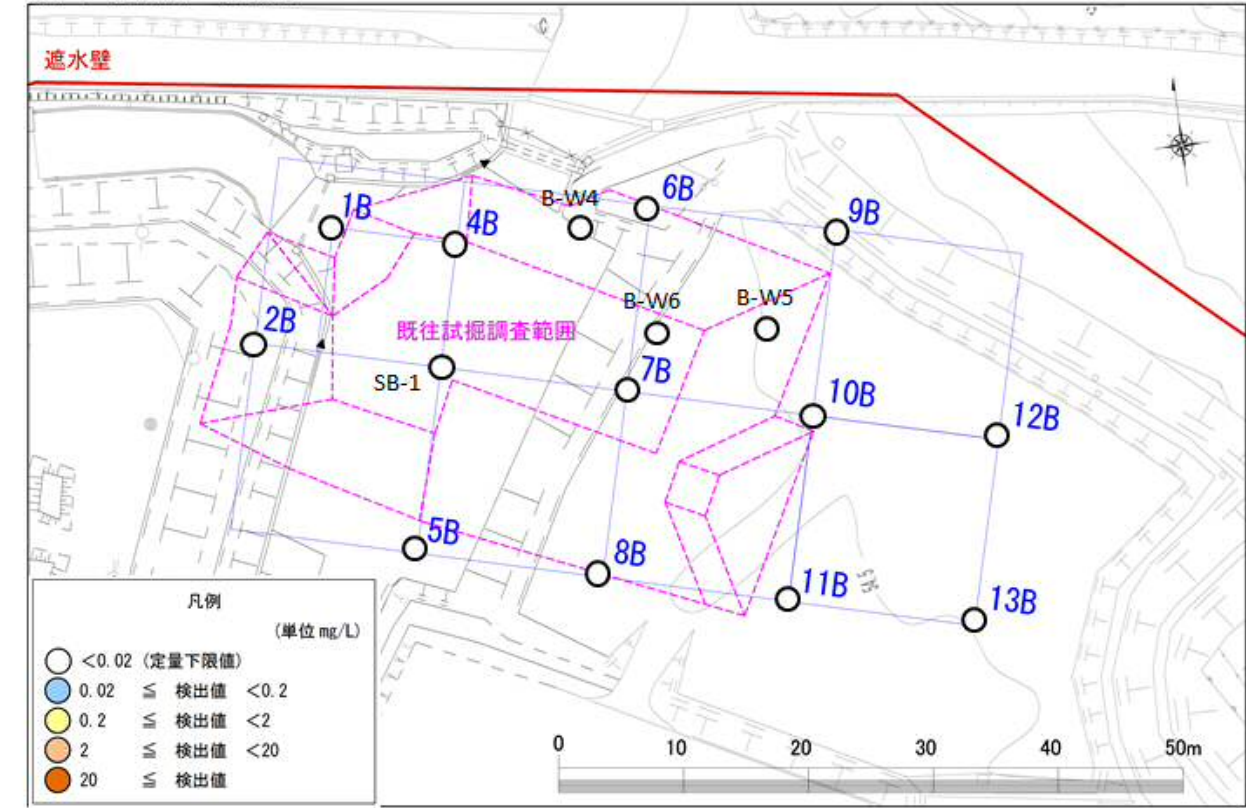
※B-W4、B-W5、B-W6孔は、「平成17・18年度 KAN17-Y7 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より

図9 分析項目別の廃棄物分析結果

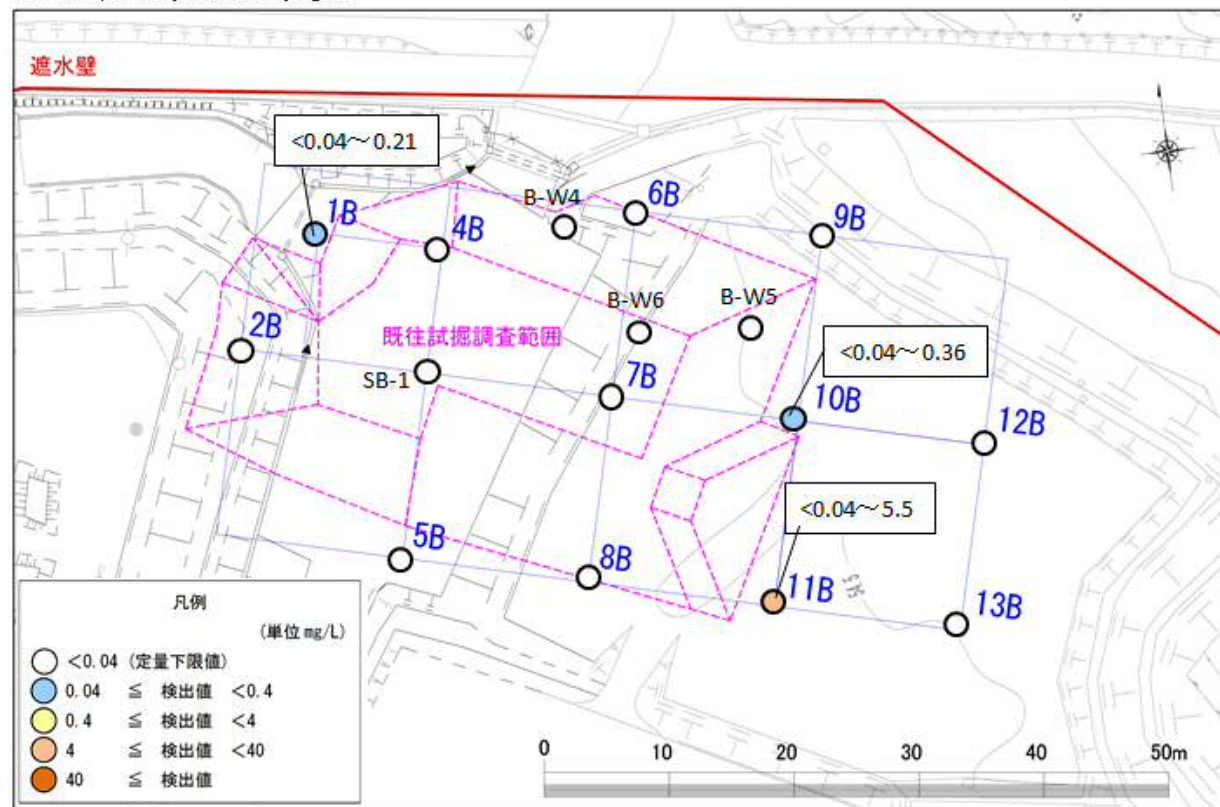
1,2-ジクロロエタン



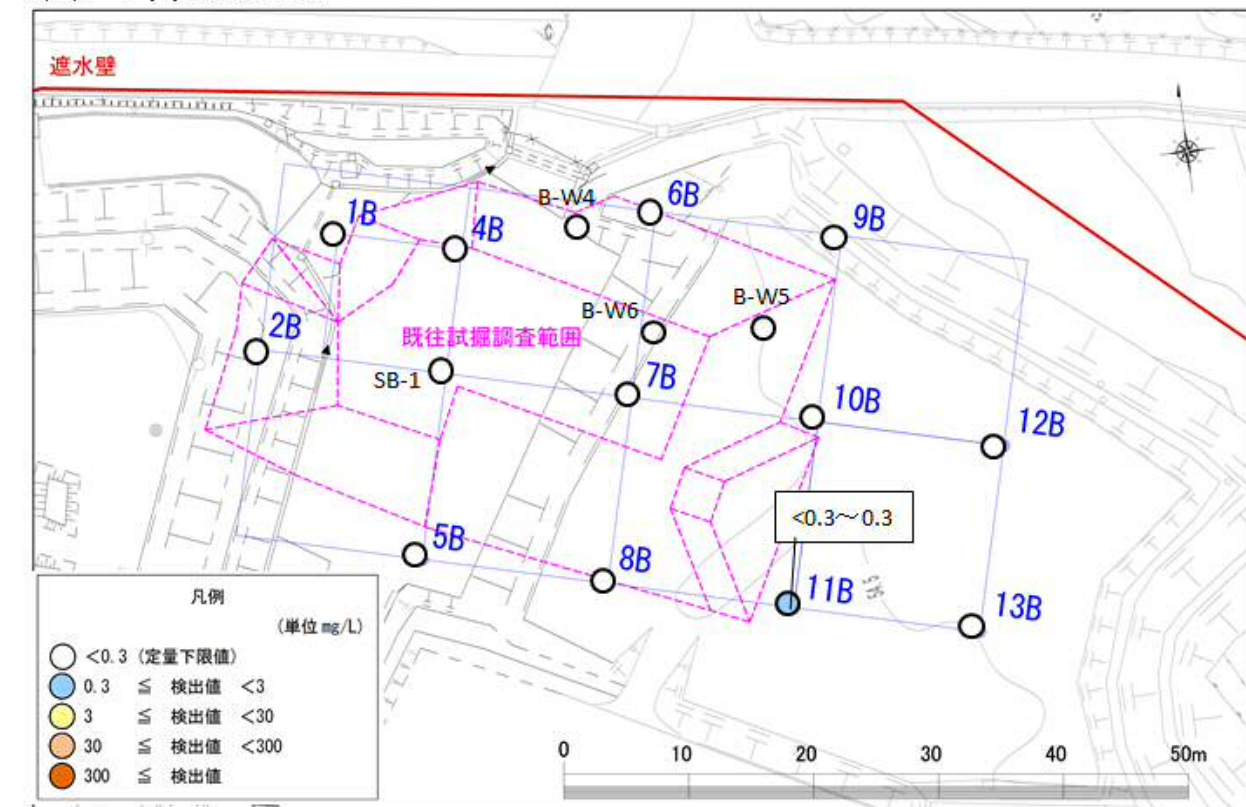
1,1-ジクロロエチレン



シス-1,2-ジクロロエチレン



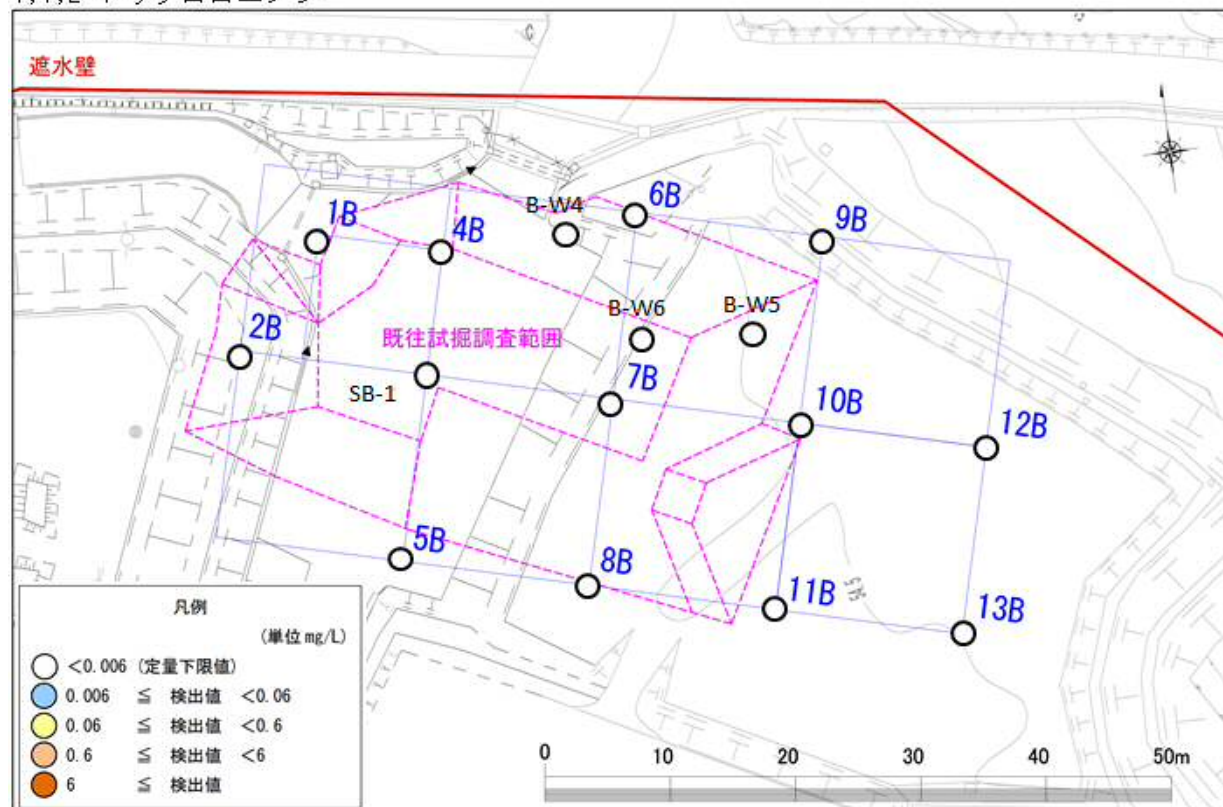
1,1,1-トリクロロエタン



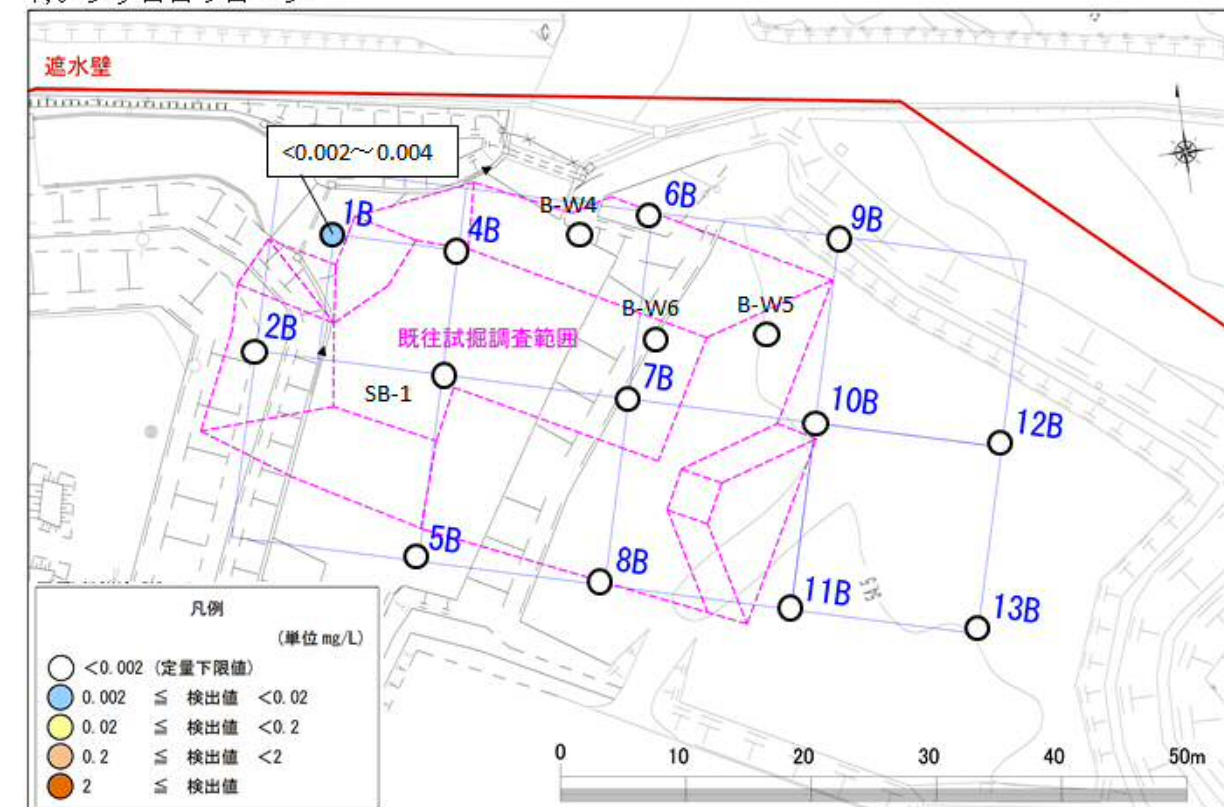
※SB-1孔は、「平成25年度 KAN25-Y4 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より
 ※B-W4、B-W5、B-W6孔は、「平成17・18年度 KAN17-Y7 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より

図 10 分析項目別の廃棄物分析結果

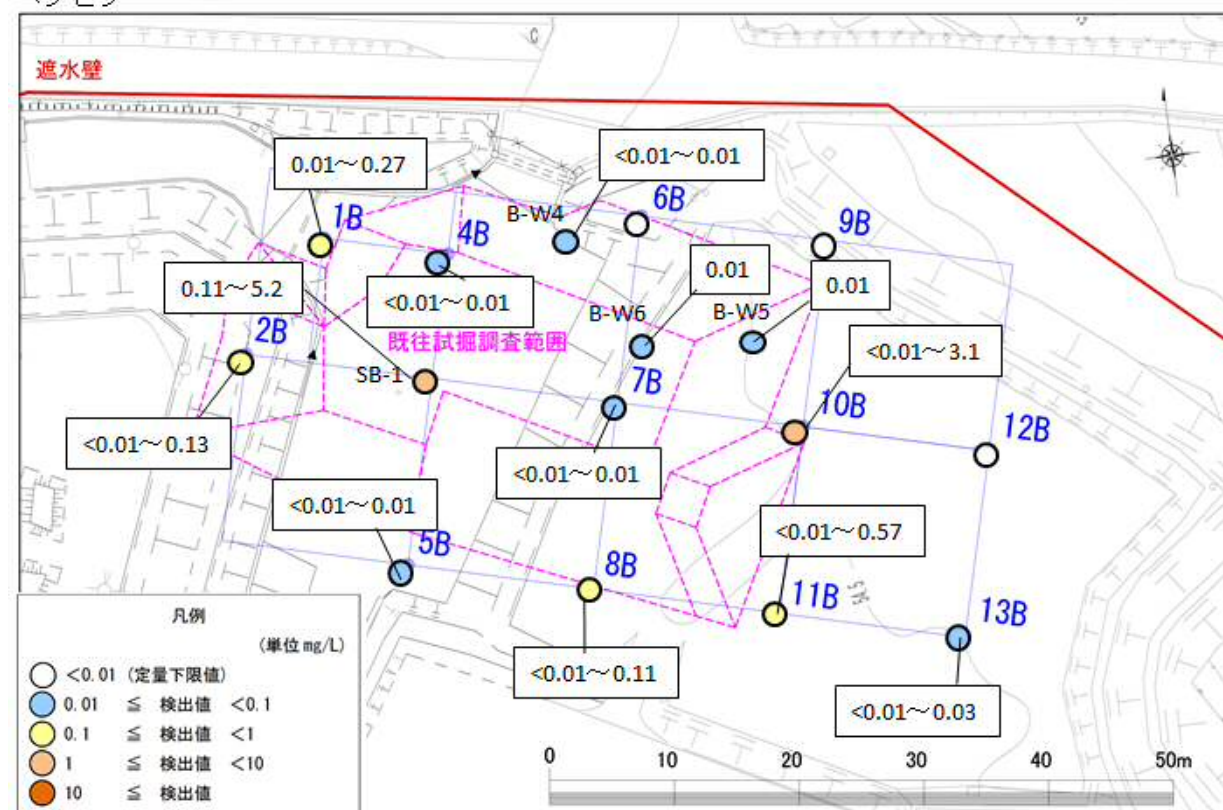
1,1,2-トリクロロエタン



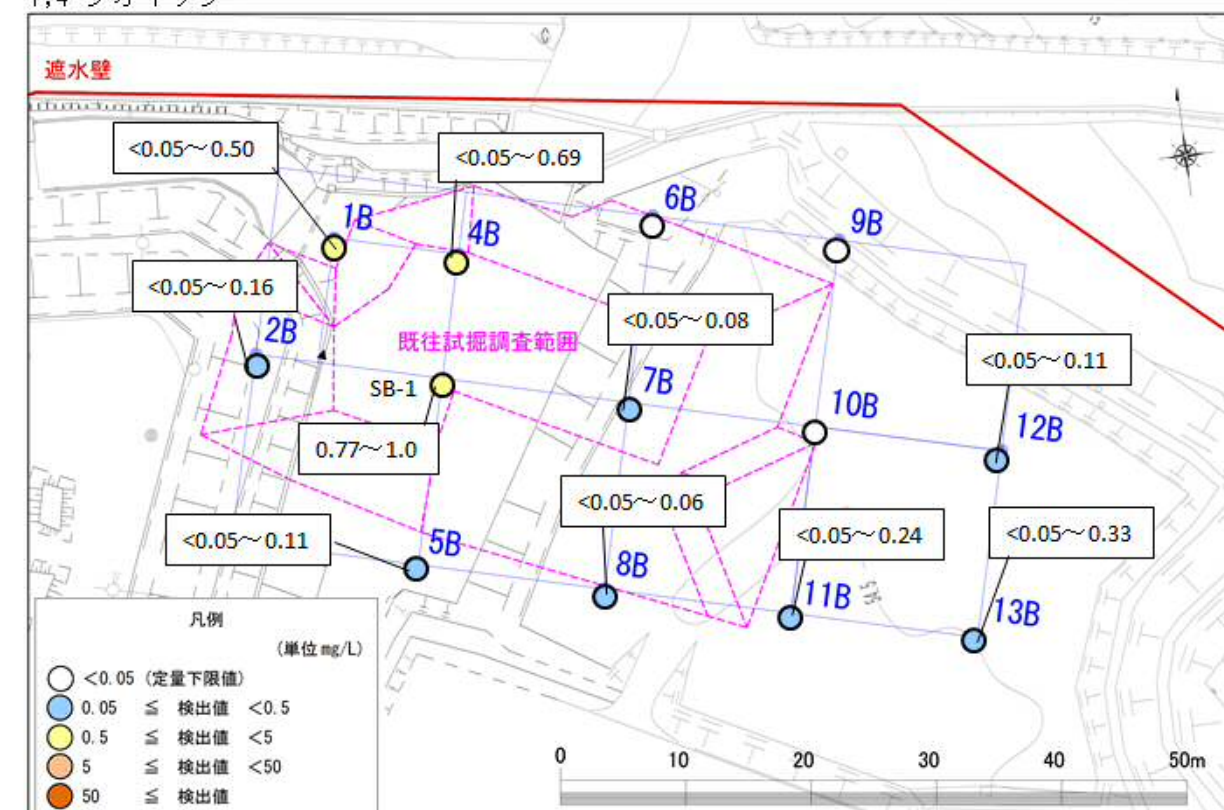
1,3-ジクロロプロペン



ベンゼン



1,4-ジオキサン



※SB-1孔は、「平成25年度 KAN25-Y4 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より
 ※B-W4、B-W5、B-W6孔は、「平成17・18年度 KAN17-Y7 能代産業廃棄物処理センター 処分場ボーリング調査業務委託」より

※B-W4、B-W5、B-W6では1,4-ジオキサンを分析していない

図 11 分析項目別の廃棄物分析結果

表2 ドラム缶内容物（油状物質）の定性分析結果（ピーク強度）一覧表

整理 番号 (注1)	物質名	環境基準		分析試料のピーク強度 ※実強度は(数値)×10 ⁶			用途・含有物による分類				主な用途
		土壌	地下水	10B 孔 ^{注2} (油層より採取)	SB-1 孔 ^{注3} (油層より採取)	10B 孔 ^{注2} (水層より採取)	溶剤・溶媒・ 洗浄剤	燃料・燃料 系添加剤	樹脂系原 料・添加剤	薬品・香料 等原料	
1	トルエン			>6	0.23	>3	○	○		○	合成原料、石油精製、医薬品、塗料・インキ溶剤等
2	エチルベンゼン			>6	0.02	>3	○	○	○		スチレン単量体の中間原料、有機合成、溶剤、希釈剤
3	o-キシレン			5.7	0.02	2.1	○	○	○		合成原料として染料、有機顔料、香料、可塑剤、医薬品、溶剤として塗料、農薬、医薬品など一般溶剤、石油精製溶剤である
4	m/p キシレン			5.7	0.03	1.9		○	○		イソフタル酸・メタキシレンジアミン原料、キシレン樹脂原料
5	1,2,4-トリメチルベンゼン			2.6	-	0.8				○	トリメリット酸・ピロメリット酸・ビタミンE原料、医薬・染料・顔料中間体
6	ベンゼン	○	○	2.2	0.02	1.3	○	○	○		樹脂や接着剤の原料、燃料の添加剤、溶剤
7	1,3,5-トリメチルベンゼン			2	-	0.5			○	○	染料・顔料・医薬・抗酸化剤中間体
8	1,2,3-トリメチルベンゼン			1.9	-	-			○		化学合成原料、プラスチックの紫外線安定剤
9	1,1,2,2-テトラクロロエタン			1.7	-	0.85			○		他の塩素化炭化水素合成の中間体
10	インデン			1.3	-	0.5			○		樹脂原料 古くからクロロニーインデン樹脂として SBR ゴム製品の強化用にブレンドされている。
11	d-リモネン			1.2	-	0.3				○	香料
12	テトラクロロエチレン	○	○	1.1	-	0.2	○				ドライクリーニング用、金属の脱脂洗浄および乾燥剤、一般溶剤、抽出剤、
13	m-メチルトルエン			1	-	0.2				○	医薬品原料
14	四塩化炭素	○	○	0.8	-	0.45			○	○	ワックス樹脂の原料、ホスゲン原料、農薬原料
15	ナフタレン			0.7	-	0.4	○	○	○	○	染色中間体、殺虫剤、殺菌剤、爆薬、酸化防止剤、溶剤、プラスチック原料、防虫剤、無水フタル酸原料
16	3,3-ジメチルヘプタン			0.7	-	-		○			鉱油成分
17	3-メチルペンタン			0.5	-	0.45			○		合成樹脂の原料
18	3-メチレンペンタン			0.5	-	-			○		合成樹脂の原料
19	1,2-ジクロロプロパン	○	○	0.4	-	1.1	○				金属用洗浄剤、溶剤、ドライクリーニング用溶剤
20	テトラデカン			0.3	-	-	○	○			塗料の溶剤や洗浄剤
21	メチルシクロヘキサン			0.25	-	-	○	○			修正液、医薬品や農薬製造用の溶媒、ジェット燃料
22	2-プロパノール			-	0.07	1.9	○	○		○	工業原料・有機溶剤・消毒・清掃用品・燃料用水抜き剤・塗装剥離剤
23	MIBK(メチルイソブチルケトン)			-	-	1.1	○		○	○	溶媒、塗料・インク・接着剤溶剤
24	ドデカン			-	-	1	○	○	○		溶剤、有機合成、蒸留チェイサー、ジェット燃料の研究
25	メチルビニルエーテル			-	-	0.9			○	○	塗料の原料、接着剤の可塑剤
26	シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○	-	-	0.9	○		○		他の塩素系溶剤の合成原料、染料・香料・樹脂等の低温抽出溶剤
27	2-ブタノール			-	0.06	0.6	○	○	○		他の化合物合成の溶媒や工業的クリーナー、ペンキの剥離剤、香料・芳香剤
28	2-クロロトルエン			-	-	0.5	○		○	○	塗料・農薬・医薬中間体、中沸点溶剤
29	トリクロロエチレン	○	○	-	-	0.2	○				脱油脂洗浄、溶剤(生ゴム、染料、塗料、油脂)
30	クメン			-	-	0.2			○		フェノール・アセトン原料；有機合成原料（フェノール，アセトン），ラッカー希釈剤
31	p-メンタン (1-イソプロピル-4-メチルシクロヘキサン)			-	0.05	-		○		○	精油中など天然に存在する有機化合物、石鹼、洗剤用香料、芳香剤、洗浄剤等の微香性の溶剤
32	メントール			-	0.04	-				○	リップクリームや咳止めなど、軽い咽頭炎や口・喉の弱い炎症を短期間軽減する大衆薬に含まれる。
33	ジメチルシラン			-	0.03	-			○		シリコン樹脂の原料
34	シオネール			-	0.03	-				○	食品添加物・香料・化粧品に利用
35	エタノール			-	0.02	-		○			アルコール、ガソリン添加剤
36	フルオロベンゼン			-	0.02	-			○		合成樹脂の原料
37	1,4-ジオキサン		○	-	0.02	-	○		○	○	溶剤、塗料・医薬品の合成原料、塩素系有機溶剤の安定剤
38	4-ブロモフルオロベンゼン			-	0.02	-			○	○	医薬薬中間体 ・電池材料 ・電子材料 ・液晶材料

注1）表中の物質は、分析試料：10B 孔（油層）>10B 孔（水層）>SB-1 孔（油層）の優先順位で、分析データのピーク強度の強いものから降順に並べた。

注2）表中の 10B 孔のピーク強度の着色は、 : ピーク強度上位 5 位まで、 : ピーク強度 6 位～1 0 位、 : ピーク強度 1 1 位～1 5 位。

注3）表中の SB-1 孔のピーク強度の着色は、 : ピーク強度上位 1 位、 : ピーク強度 2 位～5 位。

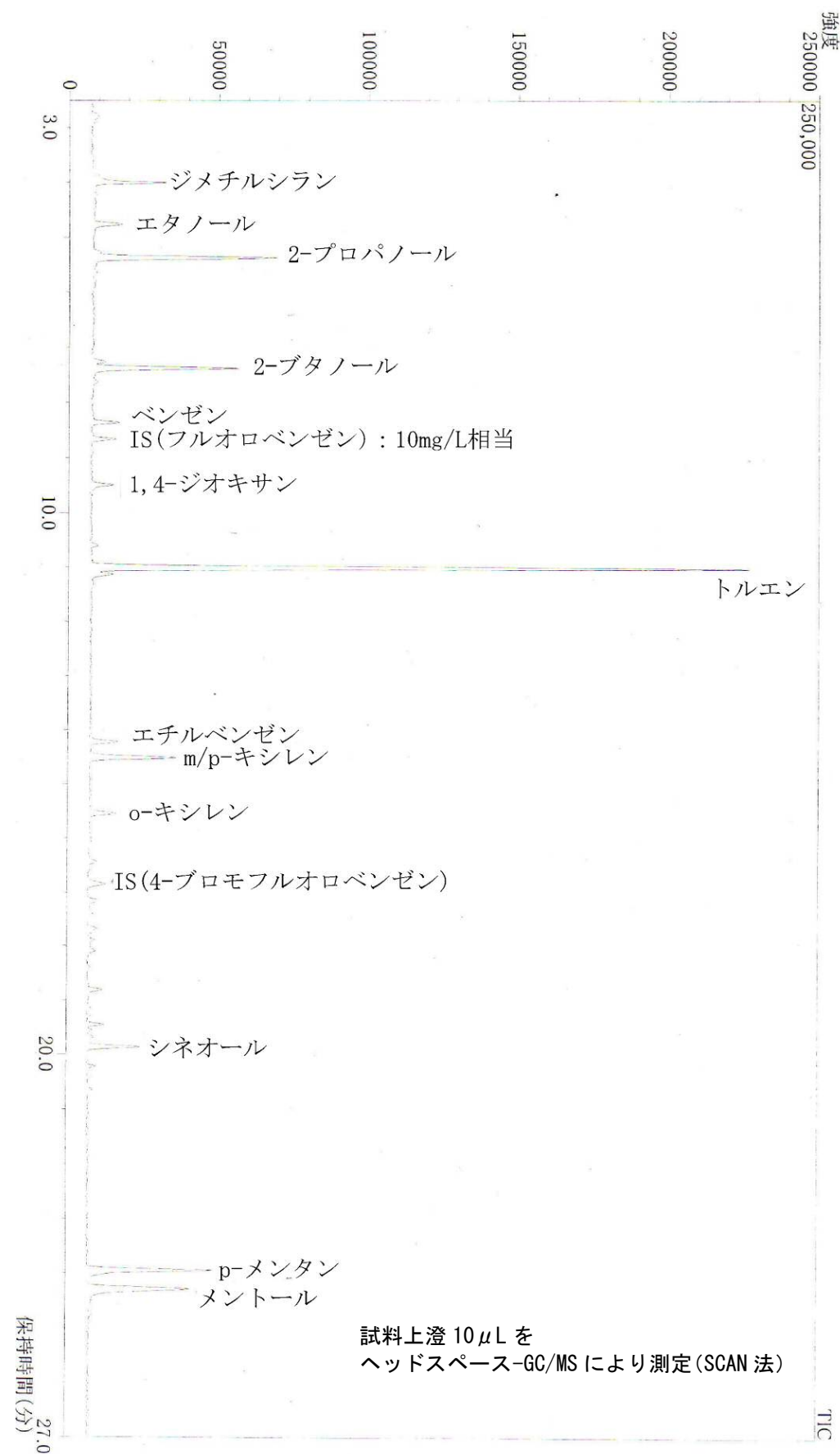


図 12 SB-1 孔の油状物質（油層）の定性分析結果

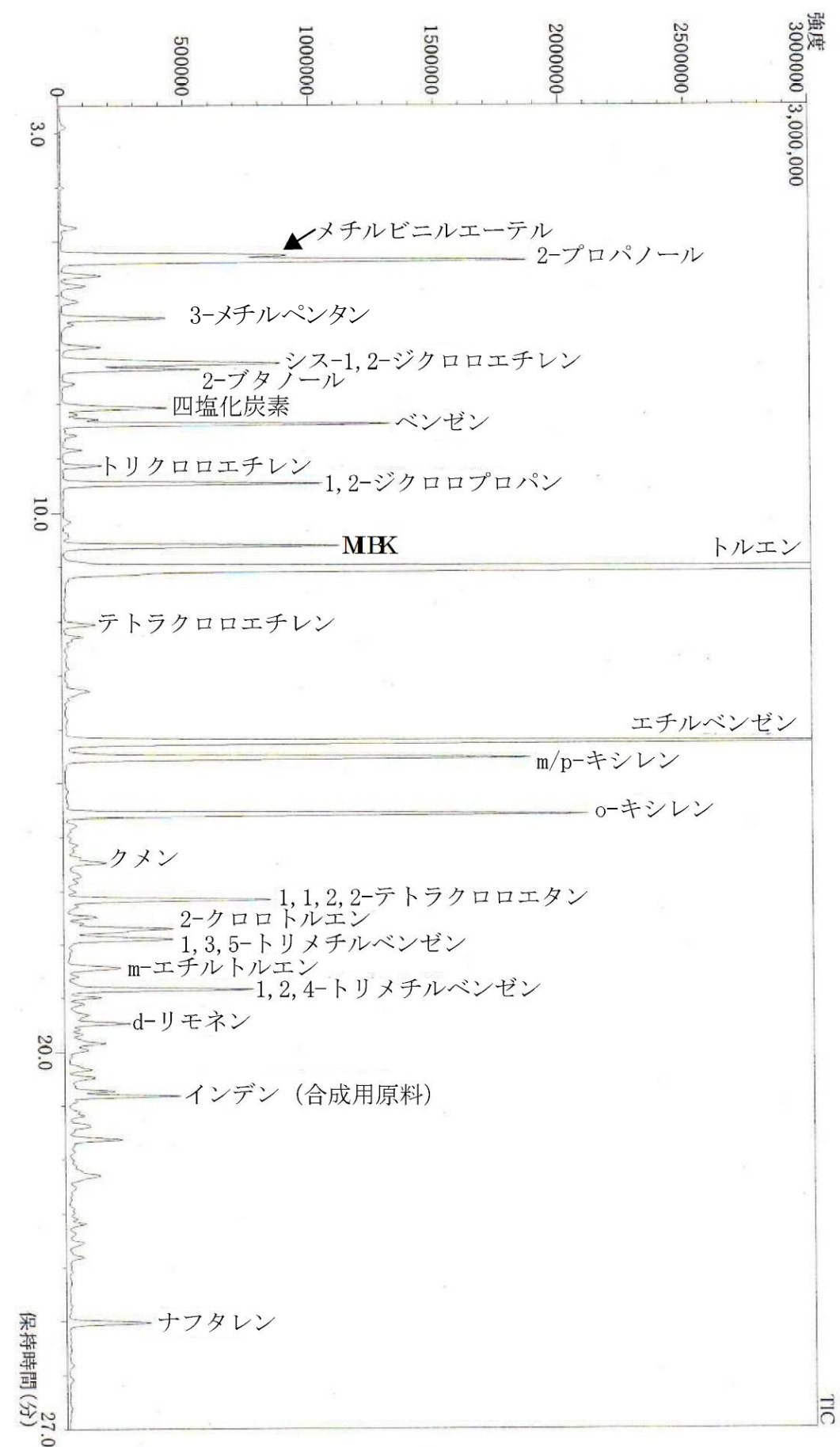


図 13 10B 孔の油状物質（水層）の定性分析結果

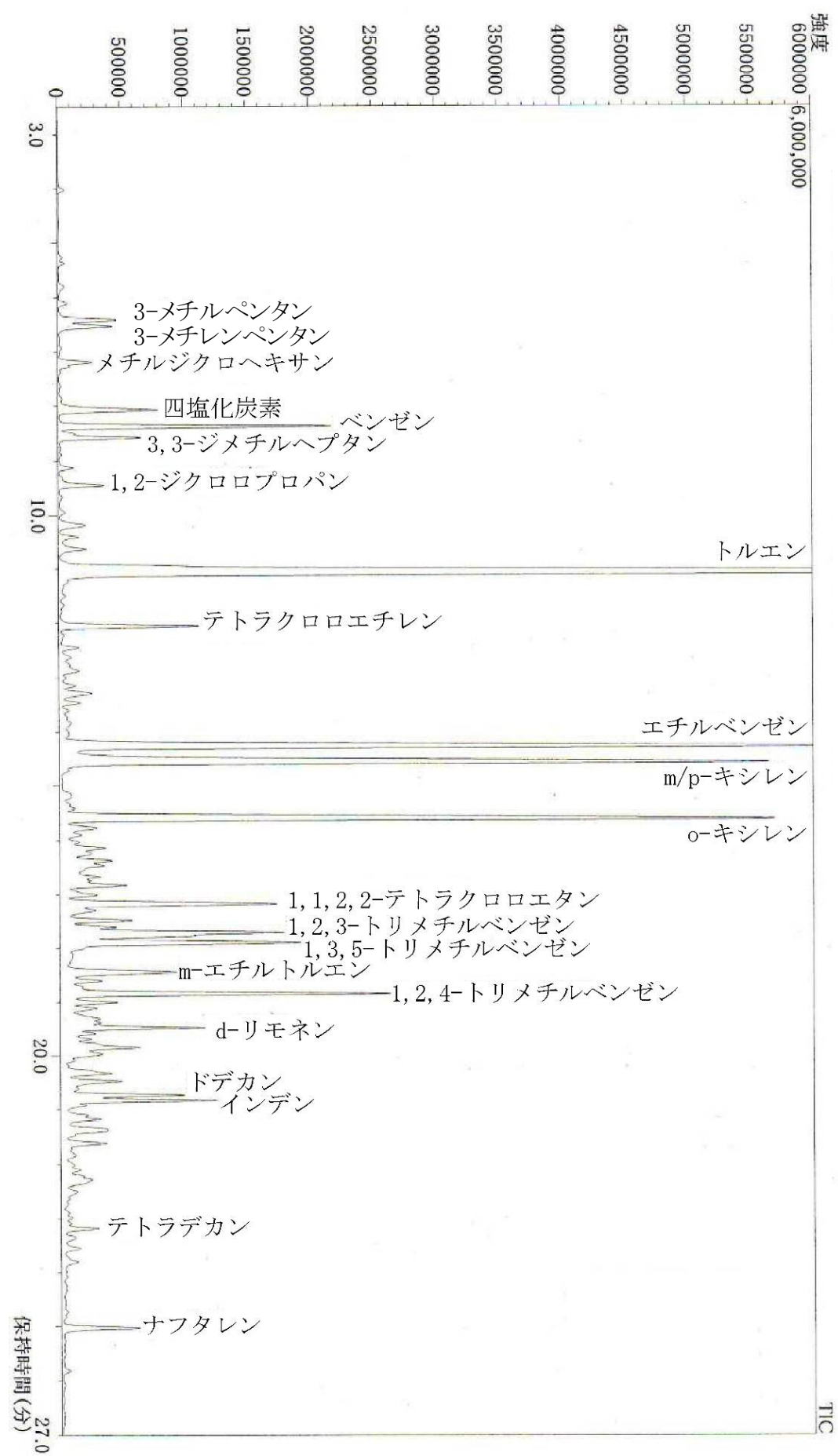


図 14 10B 孔の油状物質（油層）の定性分析結果